

# 弘前市教育年表



弘前市教育年表

年度	事 項
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村合併（旧弘前市・旧岩木町・旧相馬村）により新弘前市の誕生（2月27日） 教育委員会事務局岩木庁舎に移転、業務開始</li> <li>○ 市町村合併による暫定の教育委員に佐藤眞氏、加川勝氏、木村公則氏、今井高志氏、佐藤信隆氏を選任（2月27日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員佐藤眞氏を選任（2月27日）</li> <li>○ 教育長に教育委員佐藤信隆氏が就任（2月27日）</li> </ul>
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市長に相馬鋳一氏が就任（4月16日）</li> <li>○ 太宰治まなびの家（旧藤田家住宅）開館（4月18日）</li> <li>○ 教育委員に柴田友子氏、今井高志氏、小嶋義憲氏、石澤誠氏、石岡徹氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を選任（5月20日）</li> <li>○ 教育長に教育委員石岡徹氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 高照神社（本殿・中門等8棟2基）国重要文化財に指定される。（7月5日）</li> <li>○ ボランティア支援センター相談窓口が弘前文化センターへ移転（8月2日）</li> <li>○ 太田市・弘前市親善交流演奏会の開催（8月20日）</li> <li>○ 市町村合併新市誕生記念「第37回日展弘前展」の開催（9月16日～10月9日）</li> <li>○ 弘前市立図書館創立100周年記念講演会の開催（11月3日） 演題「江戸時代の白神山地」 講師：長谷川成一氏（弘前大学教授）</li> <li>○ 新市域における情報格差解消を目的とした、小中学校・地域イントラネット整備事業の実施・完了（1月19日）</li> </ul>
平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育委員に今井高志氏が再任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日）</li> <li>○ 新弘前市誕生1周年記念 弘前音楽祭（2月8日～2月10日）</li> <li>○ 青森県中弘南黒地方視聴覚教育協議会が廃止（3月31日）</li> </ul>
平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育委員に斎藤明子氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日）</li> <li>○ 弘前図書館及び岩木図書館のコンピュータシステム統合によるサービス開始（8月1日）</li> <li>○ 第1回弘前スポレク祭の開催（10月12日、13日）</li> <li>○ 市町村合併後初の『弘前の文化財』を刊行（3月23日）</li> </ul>

年度	事 項
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育委員に柴田友子氏が再任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日）</li> <li>○ 文化に関する事務（文化財の保護に関するものを除く。）を市長部局に移管（4月1日） これにより、弘前文化会館、弘前市民会館、弘前駅前市民ホール、弘前市立百石町展示館及び岩木文化センターも市長部局に移管となる。</li> <li>○ 学習情報館が生涯学習課内の施設となる。（4月1日）</li> <li>○ 児童劇観劇教室事業の主管課が弘前市民会館から生涯学習課となる。（4月1日）</li> <li>○ 卜傳流剣術（古武道）を市指定無形文化財に指定（4月15日）</li> </ul>
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和徳小学校屋内運動場を増改築（3月22日） [面積1,189㎡]</li> <li>○ 市長に葛西憲之氏が就任（4月16日）</li> <li>○ 教育委員に山科實氏、佐藤紘昭氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日）</li> <li>○ 教育長に教育委員佐藤紘昭氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 津軽氏城跡（種里城跡・堀越城跡・弘前城跡）の指定面積の追加（8月5日） [追加指定面積 3,992.43㎡、全体指定面積 1,058,143.07㎡]</li> <li>○ 体育施設の指定管理の実施</li> <li>○ 夢実現弘前教育プラン「弘前市教育振興基本計画」策定（12月）</li> </ul>
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育委員に前田幸子氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日）</li> <li>○ 猪形土製品（青森県十腰内2遺跡出土）が国指定重要文化財（考古資料）に指定される。 (6月27日)</li> <li>○ 第四中学校校舎を改築 [面積7,100㎡]（8月11日）</li> <li>○ 岩木山神社社務所が県重宝（建造物）に指定される。（8月19日）</li> <li>○ 太田市・弘前市友好都市親善交流演奏会の開催（8月21日）</li> <li>○ 弘前城築城400年祭の実施（1月～12月）</li> <li>○ 石場旅館・翠明荘が国登録有形文化財（建造物）に登録される。（2月23日）</li> </ul>

年度	事 項
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石川小学校屋内運動場を増改築〔面積907㎡〕（3月15日）</li> <li>○ 福村小学校校舎を増築〔面積441㎡〕（3月25日）</li> <li>○ 木造笠原八郎兵衛坐像を市指定有形文化財に指定（4月13日）</li> <li>○ 教育委員に今由香氏、土居真理氏が就任（5月20日）</li> <li>○ 教育委員長に教育委員山科實氏を選任（5月20日）</li> <li>○ 大森勝山遺跡が国指定史跡に指定される。（9月19日）</li> <li>○ 弘前市民会館大規模改修事業（建築躯体更生等工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事、舞台照明設備工事、舞台音響設備等工事、太陽光発電システム設置工事、コージェネシステム設置工事、段差解消機設置工事、緞帳復元新調業務委託） 工事期間：平成24年12月～平成25年12月</li> <li>○ 弘前市立博物館改修事業（建築工事、電気設備工事、機械設備工事、太陽光発電システム設置工事） 工事期間：平成24年12月～平成25年12月 空調調整期間：平成26年1月～3月</li> <li>○ 旧笹森家住宅が開館（2月8日）同住宅を市指定有形文化財に指定（2月20日）</li> <li>○ 平成25年第1回定例会において、子どものいじめや虐待を根絶し、子どもの笑顔を守り、広げるための基本的な理念を定めた「子どもの笑顔を広げる弘前市民条例～いじめや虐待のないまちづくりを目指して」案を可決（3月21日）</li> <li>○ 中央公民館相馬館が、新相馬庁舎（愛称「相馬やすらぎ館」）へ移転（3月25日）</li> <li>○ 相馬図書館が弘前図書館相馬ライブラリー（配本所）となる。（3月25日）</li> </ul>
平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツに関する事務（学校における体育に関するものを除く。）を市長部局に移管（4月1日） これにより、体育施設も市長部局に移管となる。</li> <li>○ 教育総務課を教育政策課に改称し、政策調整担当を配置（4月1日）</li> <li>○ 学校教育行政所管課を学校教育改革室、学校企画課、学務健康課、学校指導課の学校教育4課体制に再編し、総合調整を担う学校教育推進監を新設（4月1日）</li> <li>○ 文化財保護課を文化財課に改称（4月1日）</li> <li>○ 弘前市立図書館の3館体制を、弘前図書館を中央館、岩木図書館を分館、相馬図書館を配本所（相馬ライブラリー）とする。（4月1日）</li> <li>○ 弘前市教育研究所を弘前市教育センターに、また弘前市就学指導委員会を弘前市教育支援委員会に、さらに学校適応指導教室を弘前市フレンドシップルームに改称（4月1日）</li> <li>○ 教育委員に一戸由佳氏が就任（5月20日）</li> </ul>

年度	事 項
平成 25 年度	<p>○弘前市民文化交流館開館（7月27日） （ヒロロスクエア3・4階）</p> <p>○弘前図書館駅前分室「こども絵本の森」が開館（7月27日） （ヒロロスクエア3階 子育てエリア内）</p> <p>○弘前市教育振興基本計画一部改訂（8月）</p> <p>○長慶閣改修事業（建築工事、電気設備工事、消防設備工事） 工事期間：平成25年10月～平成26年3月</p> <p>○高杉小学校校舎を増改築〔面積3,412㎡〕（12月10日）</p> <p>○高杉小学校屋内運動場を増改築〔915㎡〕（3月14日）</p> <p>○文京小学校校舎を増改築〔面積5,138㎡〕（12月11日）</p> <p>○文京小学校屋内運動場を増改築〔1,184㎡〕（3月10日）</p> <p>○弥生小学校閉校（3月31日）</p> <p>○東目屋スキー場の廃止（3月31日）</p>

※ 弘前市教育年表の掲載基準について

以下の基準をもとに、弘前市教育年表への掲載事項を整理しております。

- 1 弘前市の教育行政における重要な出来事  
(例) 教育委員の異動について、弘前市教育振興基本計画の策定について、学校の新築・増改築について、文化財の指定について、新たな行事や組織等の誕生について、他
- 2 弘前市全体における特に重要な出来事について  
(例) 新市長の就任について、弘前城築城400年祭の開催について、他